

「イクケン香川」 たまご育て事業

他孫(たまご)育て応援講座 フォローアップセミナー

シニアの方を対象に、これまで培ってきた人生のスキルや、ゆとりができた時間を生かして、地域の子ども（他孫）や家庭をサポートする応援隊になるための講座。

核家族が多い現代、＜シニア＞というナナメの関係が、地域の子育て家庭にもたらすパワーを再確認していただくとともに、シニアの方のスキルと時間を積極的に活かし、子育てに温かい社会づくりや、地域とのつながりを持つきっかけとしてもらう。

日時 令和2年2月23日（日） 10:00～12:00（9:45～受付開始）
会場 サンメッセ香川 特別会議室（高松市林町 2217-1）
対象 地域の子育て家庭を応援したい方
参加者 19名
参加費 無料

講演 「地域の出番！シニアの出番！ナナメの関係が子どもの人間力を育てる」

ぼうだ あきこさん NPO法人 孫育て・ニッポン 理事長
NPO法人 ファザーリング・ジャパン 理事

本講座は、昨年県内3か所で行った他孫（たまご）育て応援講座のフォローアップセミナーとして開催しました。前回の講座に参加した方、新たに他孫育て応援講座に関心を持った方も参加してくださいました。

講師の先生からのお話を伺うだけでなく、実際に体を動かして体感したり、グループに分かれて話し合ったりしながら、現在の子育て状況を知り、自分たちができることを見つけられる、有意義なセミナーになりました。

便利・効率・利益の社会が生み出した子どもたち

核家族化やIT化の影響で人と人との関わりが少なくなっています。そのため、言葉を知らない、知らない人との会話が怖い、という子どもが増加しているとのこと。

社会性を学ぶには、まず見て、真似て、遊びながら試行錯誤し、身につけるといった段階が必要です。しかし、現代は「見る」機会が少なく、真似るお手本が絶対的に不足している、と先生はおっしゃいます。



子育てが変わった？変わったのは社会と環境

チンパンジーは5年に1度出産し、母だけで育てるのに対し、人間は1年に1度、生理的早産で出産し、他の人の手を借りながら、群れで育てていました。しかし、現在は…母子が孤立しがちです。

そこで、参加者全員が「子育て世代のここが変わったと思う点」、「子育て世代が頑張っている点」をそれぞれ書き出し、話し合いました。現在の子育てに目を向けて、手を差し伸べられそうなことを考えたり、子育て世代のがんばりを認めたりすることが出来ました。



ナナメの関係の大切さ

親族の縮小化、ご近所関係の希薄化で、親子以外の関係、ナナメの関係を持つことはとても難しくなってきました。

ナナメの関係では、親が見えていないその子の良さを見つけてもらえることで、子どもが認められる回数が増え、子どもの自己肯定感が育ちます。ちょっとした関わりや手伝いで、他の人の役に立っている、という自己有用感が育ちます。それは、子どもだけでなく、子育て応援団である、シニアや地域の人にも言えることです。

今、手をさしのべた3歳の子どもたちが、10年後13歳になった時、災害時に助けてくれる人に育っている、そんなつながりが持てるのも、ナナメの関係のよさです。

今日から一人でもできること

大げさな事ではなく、できることをしてください、とぼうださん。まずは外に出て歩き、地域の人と出会う、スーパーのレジで妊婦さんや子連れの人に順番を譲る、そんな小さなことから始めてみては、と参加者の背中を押していただきました。

参加者アンケートより(一部抜粋)

- 今、高齢者の方は元気な方がたくさんいます。そういう方が少しでも子育て世代に力になればいいのかな、と思って参加しました。ぼちぼちと皆さんと話し合いながら、子育て支援をされている方たちと相談し、できることを聞きながら進めていきたい。
- 昔と今の母子を取り巻く環境、自分にできることなど、具体的に学ぶことが出来ました。
- 私もできることから始めてみようと思いました。
- 地域の中で幼い子供たちと接する機会がないのでこれからどうかかわっていくか、心を広めて生活していきたい。
- 残りの人生を感謝の心を込めて役立つことが出来たらと思います。